

# 富士宮市文化財年報

第4号

平成25年度



2015  
富士宮市教育委員会

# 富士宮市文化財年報

第4号

平成25年度

2015  
富士宮市教育委員会

## 例 言

- 1 本書は、平成 25 年度に実施した富士宮市内における文化財保護事業の概要をまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、文化財保存・管理事業、埋蔵文化財事業、郷土資料館事業、歩く博物館事業、その他の事業に分類した。
- 3 本書の執筆・編集は、富士宮市教育委員会文化課の各担当が行った（平成 25 年度は 9 月 30 日まで富士山文化課、10 月 1 日より富士山世界遺産課）。
- 4 平成 25 年度文化財関係組織

教 育 長	池谷 眞徳
教 育 次 長	矢崎 正文
富士山文化課・富士山世界遺産課長	渡井 一信
同主幹兼学術文化財係長	伊藤 昌光
同 主 査	保竹 貴幸（埋蔵文化財担当）
同 主 事	鈴木 裕一郎（文化財管理担当）
同 学 芸 員	梶山 沙織（歴史・民俗担当）
同 学 芸 員	松本 将太（歴史・民俗担当）
同 嘱 託 員	馬飼野 行雄（埋蔵文化財担当）
同 嘱 託 員	志村 和恵（歴史・民俗担当）
同 嘱 託 員	細田 和代（旧姓今井 埋蔵文化財担当）
同 嘱 託 員	五味 奈々子（埋蔵文化財担当）
同 嘱 託 員	長澤 邦夫（5 月から 埋蔵文化財担当）

《表紙写真：名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備後の様子》

# 目次

富士宮市文化財年報第4号の刊行にあたって	1
I 平成25年度の文化財保護事業	
1 概要	3
2 文化財保護事業一年の歩み	4
II 文化財保存・管理事業	
1 文化財保護審議会	5
(1) 文化財保護審議会の開催	
(2) 文化財保護審議会委員の改選	
2 文化財指定事業	6
(1) 上稲子八幡宮の厨子	
(2) 龍興寺の厨子	
(3) 芭蕉天神宮本殿	
3 指定文化財整備事業	7
(1) 史跡「富士山」整備事業	
(2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業	
(3) 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業	
4 指定文化財保存管理事業	9
(1) 富士宮市文化財保護補助金の交付	
(2) 指定文化財保護対策事業	
(3) 文化財防火デー	
5 未指定文化財保存管理事業	10
(1) 民俗調査事業	
III 埋蔵文化財事業	
1 発掘調査（現地調査）	13
(1) 村山浅間神社遺跡	
(2) 城山遺跡	
(3) 大中里坂下遺跡	
2 市内遺跡発掘調査事業（補助事業）	16
(1) 史跡富士山「山宮浅間神社」	
3 試掘・確認調査	17
(1) 二ノ宮遺跡	
(2) 福伝遺跡	
(3) 代官屋敷遺跡	
(4) 大中里坂下遺跡	
(5) 石敷遺跡	
(6) 城山遺跡	

4	発掘調査報告書作成	21
	(1) 大宮城跡（元富士大宮司館跡）	
5	富士宮市埋蔵文化財センターの整備	21
IV 郷土資料館事業		
1	展示	22
	(1) 常設展示	
	(2) 企画展示	
	(3) その他の展示	
	(4) 展示会関連事業	
2	資料収集・保存管理	23
	(1) 資料収集	
	(2) 保存管理	
3	古文書等解読刊行事業	24
	(1) 旧上野村役場文書刊行事業	
4	その他	24
	(1) 仏像等彫刻類調査	
V 歩く博物館事業		
1	探索会	25
	(1) 市主催探索会	
	(2) 探索会講師派遣	
VI その他の事業		
1	問合せ対応	26
2	小中学校総合学習への対応	26
3	講師派遣	26
	(1) 富士山まちづくり出前講座	
	(2) その他の講座への講師派遣	
資料 i	富士宮市指定文化財指定調書	27
資料 ii	「子安信仰」展配布資料	31
資料 iii	「柚野の里まつり」配布資料	35
資料 iv	第1回富士宮市歩く博物館探索会「大岩地区」配布資料	39
資料 v	各委員会委員名簿	43
資料 vi	富士宮市内指定文化財一覧	45
資料 vii	富士宮市歴史年表	47

# 富士宮市文化財年報第4号の刊行にあたって

文化課長 小田 剛 男

「富士宮市文化財年報」第4号の刊行にあたり、平成25年度の富士宮市の文化財保護行政とそれを取りまく動向について振り返ってみます。

## 1 富士山の世界文化遺産登録と構成資産となった文化財の整備

富士宮市が総力をあげて取り組んできた富士山の世界文化遺産への登録が平成25年6月22日に決定されました。この日、カンボジアのプノンペンで開催された第37回ユネスコ世界遺産委員会において、我が国が世界文化遺産に推薦していた「富士山」について審議が行われ、世界遺産一覧表に記載することが決定されたものです。記載する名称は「Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration（富士山－信仰の対象と芸術の源泉）」とされました。

世界遺産富士山の構成資産には、富士宮市内にある多くの文化財が含まれており、富士宮市の文化財保護行政にとって、重要な節目であったと言えます。

世界文化遺産への登録決定後においても、構成資産である文化財の本質的価値を保存し、次世代に継承するとともに、その活用を図るため、平成24年3月に策定した「史跡富士山整備基本計画」、「名勝及び天然記念物『白糸ノ滝』整備基本計画」に則り、整備を行っています。平成25年度に実施した事業としては、登録決定前から取り組んできた白糸ノ滝の公園、橋梁、展望場の整備のほか、村山大日堂の保存修理への着手等が挙げられます。これらの整備事業のほか、人穴富士講遺跡の現況調査や山宮浅間神社の遺跡発掘調査等も行っており、ユネスコの世界遺産センターに提出した推薦書に記載された構成資産の保護と管理の具現化として、今後も歩みを刻んでいくことになります。

## 2 富士山世界遺産センター（仮称）の決定

静岡県は、平成25年8月に、富士宮市宮町のせせらぎ広場周辺地を県が整備する富士山世界遺産センター（仮称）の建設地として決定しました。この富士山世界遺産センター（仮称）は世界遺産富士山の情報提供戦略の中心に位置付けられる施設となることから、構成資産である文化財の調査研究、成果の活用、また、それらのガイダンス施設としての機能が考えられます。そのため、当市の世界遺産及び文化財関係事業もその整備を注視し展開していくこととなりました。

## 3 富士山世界文化遺産登録後に向けた体制構築

富士山の世界文化遺産登録決定、さらに富士山世界遺産センター（仮称）の富士宮市への建設決定に伴い、今後の市の事業展開や、「世界遺産富士山」の保護・保全と活用の両立を総合的に企画及び調整していくため、平成25年10月に富士山文化課を富士山世界遺産課と改称しました。

## 4 埋蔵文化財センターの整備

富士宮市で約半世紀にわたって行われてきた埋蔵文化財の発掘調査では、膨大な数の出土資料が得られました。これらの資料は、庁舎外に所在する複数の収蔵庫などに分散して収蔵・保管してきました。折しも、長貫地内の旧芝川町保健福祉センターが合併により閉鎖となつて以来、未利用施設となつていましたので、これを改修し「富士宮市埋蔵文化財センター」として活用することとなりました。平成25年度には、建物の改修工事など所要の整備を行い、資料の移動搬入を行いました。

これにより、埋蔵文化財センターは、分散保管されていた出土資料をはじめとする文化財資料を集約するとともに、埋蔵文化財の発掘調査・整理事業を始めとする富士宮市の文化財調査の拠点施設となります。今後、埋蔵文化財センターでは資料の保存・管理、調査・研究、成果の展示等の積極的な事業展開を図ってまいります。

## 5 まとめ

富士山の世界文化遺産登録達成と登録前に引き続いての世界遺産関係の文化財の整備事業等に追われた平成25年度でしたが、その一方で世界遺産関係以外にも連綿と歴史を紡ぐ埋蔵文化財、歴史・民俗分野等の文化財保護行政においても歩みを止めることは許されず、郷土資料館事業として行った子安信仰展や旧上野村役場文書の刊行、埋蔵文化財分野では城山遺跡や大中里坂下遺跡などの開発行為に伴う発掘調査、大宮城跡の調査報告書刊行など、一層の成果を上げた1年でありました。

今後とも、文化財の保護を図りながら、市内の歴史的、文化的資産の一層の掘り起しに努め、調査成果の市民の皆様への還元を使命として事業を実施していきたいと考えています。富士宮市の豊かな歴史を守り伝えていくため、今後ともご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。



写真1 世界遺産登録記念イベント



写真2 旧芝川町保健福祉センター(改修後)

# I 平成 25 年度の文化財保護事業

## 1 概要

富士宮市における平成 25 年度の文化財保護関連事業の概要は、下記のとおりである。

### 〈文化財保存・管理事業〉

文化財保護審議会での審議・答申に基づき、旧芝川町指定文化財のうち、「上稲子八幡宮の厨子」、「龍興寺の厨子」、「芭蕉天神宮本殿」を富士宮市指定有形文化財に指定した。

史跡「富士山」、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」、史跡「大鹿窪遺跡」の各文化財について、今年度も各委員会の指導を得て調査・整備等の事業を実施した。

その他、市内指定文化財の保存・管理事業への補助金の交付や未指定文化財の調査等、文化財の保存・管理事業を推進した。

### 〈埋蔵文化財事業〉

開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査を 7 件実施した。その内、村山浅間神社遺跡、城山遺跡、大中里坂下遺跡では発掘調査を実施した。また、前年度に発掘調査を実施した大宮城跡について、資料整理作業を行い、発掘調査報告書（『元富士大宮司館跡 II』）を刊行した。

国・県の補助金を受けて、史跡富士山「山宮浅間神社」内容確認発掘調査を実施した。

富士宮市内の遺跡で出土した遺物を整理・保管し、展示公開するための施設として「富士宮市埋蔵文化財センター」の整備を国・県の補助金を受けて実施した（平成 26 年 6 月 1 日からグランドオープン）。

### 〈郷土資料館事業〉

郷土資料館において、「子安信仰」展、「市民所蔵の富士山資料」展、「富士山資料」展の計 3 回の企画展を開催し、あわせて関連企画を開催した。

郷土資料館以外での展示としては、長屋門「歴史の館」のほか、「柚野の里まつり」において大鹿窪遺跡出土遺物の展示及び遺跡の解説を行った。

旧上野村役場文書の解読作業を実施し、『旧上野村役場文書』として刊行した。

### 〈歩く博物館事業〉

5 月に大岩地区、10 月に杉田地区、3 月に北山地区で探索会を開催した。大岩地区の探索会は「ふじのみやの道祖神」展（平成 25 年 3 月 23 日から平成 25 年 8 月 4 日まで郷土資料館で開催）、杉田地区での探索会は「子安信仰」展の関連企画として開催した。

### 〈その他の事業〉

市内の歴史・民俗等に関する問合せに対応したほか、小中学校の総合学習（富士山学習）への対応や、富士山まちづくり出前講座の講師を務めた。

## 2 文化財保護事業一年の歩み

〈平成 25 年〉

- 5 月 7 日 二ノ宮遺跡確認調査実施（5 月 8 日まで）。
- 5 月 13 日 福伝遺跡確認調査実施。
- 5 月 18 日 平成 25 年度第 1 回歩く博物館探索会（大岩地区）開催。
- 6 月 4 日 平成 25 年度第 1 回文化財保護審議会開催。
- 6 月 20 日 建造物 3 件を富士宮市指定有形文化財に指定。
- 6 月 22 日 富士山世界文化遺産登録決定。
- 7 月 29 日 平成 25 年度第 1 回史跡富士山整備委員会開催。
- 7 月 31 日 福石神社「茅の輪の神事」調査実施。
- 8 月 6 日 大宮・村山口登山道現地調査実施（8 月 7 日まで）。
- 8 月 7 日 代官屋敷遺跡確認調査実施（8 月 13 日まで）。
- 8 月 15 日 盆行事調査実施（8 月 16 日まで）。
- 8 月 19 日 大中里坂下遺跡確認調査実施（8 月 29 日まで）。
- 8 月 24 日 郷土資料館「子安信仰」展開催（平成 26 年 1 月 14 日まで）。
- 10 月 12 日 「柚野の里まつり」で大鹿窪遺跡の展示及び遺跡の解説を実施。
- 10 月 17 日 平成 25 年度第 2 回文化財保護審議会開催。
- 10 月 23 日 平成 25 年度第 2 回歩く博物館探索会（杉田地区）開催。
- 11 月 11 日 史跡富士山「山宮浅間神社」内容確認発掘調査実施（平成 26 年 3 月 20 日まで）。
- 11 月 22 日 平成 25 年度第 1 回史跡大鹿窪遺跡整備基本計画策定委員会開催。
- 11 月 26 日 石敷遺跡確認調査実施（11 月 27 日まで）。
- 11 月 26 日 平成 25 年度第 2 回史跡富士山整備委員会開催。
- 12 月 9 日 村山浅間神社遺跡発掘調査実施（12 月 16 日まで）。

〈平成 26 年〉

- 1 月 9 日 どんど焼き調査実施（1 月 12 日まで）。
- 1 月 21 日 城山遺跡確認調査実施（1 月 24 日まで）。
- 1 月 26 日 文化財防火デー。
- 1 月 28 日 城山遺跡発掘調査実施（2 月 25 日まで）。
- 1 月 大宮・村山口登山道調査（山室経営者聞き取り）実施。
- 2 月 3 日 大中里坂下遺跡発掘調査実施（3 月 28 日まで）。
- 2 月 22 日 郷土資料館で「市民所蔵の富士山資料」展開催（3 月 2 日まで）。
- 2 月 24 日 村山浅間神社遺跡確認調査実施。
- 3 月 3 日 郷土資料館展示物等くん蒸事業実施（3 月 5 日まで）。
- 3 月 5 日 指定文化財保護対策事業実施（狩宿の下馬ザクラ、猪之頭のミツバツツジ）。
- 3 月 8 日 平成 25 年度第 3 回歩く博物館探索会（北山地区）開催。
- 3 月 15 日 郷土資料館で「富士山資料」展開催（6 月 30 日まで）。
- 3 月 17 日 平成 25 年度第 3 回文化財保護審議会開催。
- 3 月 20 日 平成 25 年度第 3 回史跡富士山整備委員会開催。
- 3 月 20 日 『元富士大宮司館跡Ⅱ』刊行。
- 3 月 20 日 『旧上野村役場文書』刊行。

## II 文化財保存・管理事業

### 1 文化財保護審議会

#### (1) 文化財保護審議会の開催

##### 第1回

開催日：平成25年6月4日（火）

内 容：「上稲子八幡宮の厨子」、「龍興寺の厨子」、「芭蕉天神宮本殿」の文化財指定について答申。平成24年度の事業報告。

##### 第2回

開催日：平成25年10月17日（木）

内 容：「（仮称）富士宮市埋蔵文化財センター」の設置、富士山の世界文化遺産登録等についての報告。

##### 第3回

開催日：平成26年3月17日（月）

内 容：「猫沢のカシワ」、「西山本門寺のシダレマキ」、「寛妙寺のイヌマキ」の文化財指定について答申。



写真3・4・5 左から「猫沢のカシワ」・「西山本門寺のシダレマキ」・「寛妙寺のイヌマキ」

#### (2) 文化財保護審議会委員の改選

平成25年8月31日で文化財保護審議会委員及び富士宮市立郷土資料館運営協議会委員の任期が満了となったため、委員の改選を行った。改選に伴い、重複する専門分野の整理統合を図ったため、委員の人数は15人から12人となった（巻末資料v）。

## 2 文化財指定事業

平成 25 年 6 月 4 日付けの文化財保護審議会の答申に基づき、平成 25 年 6 月 20 日付けで建造物 3 件（「上稲子八幡宮の厨子」、「龍興寺の厨子」、「芭蕉天神宮本殿」）を富士宮市指定有形文化財に指定した（巻末資料 i）。

### (1) 上稲子八幡宮の厨子

所有者 八幡宮

所在地 富士宮市上稲子 1630 番地

説明 高さ 1.3m、幅 1m、全体を黒漆塗りとし、随所に金箔を押した三間社、入母屋造り。製作時期は不明だが、嘉永 2 年(1849)に京都より購入したとも、安政 4 年(1857)に搬入されたものとも伝えられる。建築様式の外見所見からは、江戸時代末の特徴を示すものと判断される。細部に至るまで精巧に製作されており、建築様式も統一され時代性を良く保った作品である。



写真 6 上稲子八幡宮の厨子

その他 旧芝川町指定文化財

### (2) 龍興寺の厨子

所有者 龍興寺

所在地 富士宮市内房 3716 番地

説明 昭和 58 年の旧芝川町の有形文化財に指定された際の調査報告書によると、龍興寺は、興津清見寺四世説心和尚が隠居寺として、慶長 13 年(1608)に開山しており、開山にあたり本尊と共にこの厨子を持ってきたらしいとある。

製作年代に関する史料等は発見されていないが、厨子本体は簡素な造りながら全体的に江戸時代初期の様式を示しており、富士宮市内における厨子の例として貴重である。



写真 7 龍興寺の厨子

その他 旧芝川町指定文化財

(3) 芭蕉天神宮本殿

所有者 芭蕉天神宮

所在地 富士宮市内房 5820 番地

説明 一間社、流造り、銅板葺き。向拝廻りに彫刻が集中している。水引虹梁と墓股が一体となっており、彫刻は正面が鳳凰、背面は麒麟。木鼻の彫刻は獅子に造り、左側の獅子は籠彫りの鞠を抱える。

棟札類より、建立年代が明治 13 年(1880)で、造営に携わった大工は由比住の柳室半兵衛を棟梁とする一派であることが判明した。

また、一部において未完のまま工事を打ち切った痕跡があるが、これは建造物の歴史的・文化的価値を低めるものではない。

その他 旧芝川町指定文化財



写真 8 芭蕉天神宮本殿

### 3 指定文化財整備事業

(1) 史跡「富士山」整備事業

史跡「富士山」(平成 23 年 2 月 7 日指定)について、史跡富士山整備委員会の指導を受けながら、史跡の調査は学術文化財係、便益施設(案内所・トイレ)の整備等を世界遺産推進室が担当し、事業を実施した。

なお、便益施設及び史跡内の管理(草刈り等)については地元区に委託して実施した。

ア 史跡富士山整備委員会の開催

開催日 第 1 回：平成 25 年 7 月 29 日(月) 第 2 回：平成 25 年 11 月 26 日(火)  
第 3 回：平成 26 年 3 月 20 日(木)

内容 平成 24 年度の調査成果の報告。  
平成 25 年度実施の調査・整備事業について、進捗状況の報告と内容の検討。  
平成 26 年度の実施予定事業についての検討。

イ 各構成資産の調査・整備

(ア) 山宮浅間神社

史跡整備の基礎資料とするため、遥拝所の南側及び石塁周辺の発掘調査を実施した(Ⅲ-2-(1))。

神社に保管されている資料(明治時代以降)の調査を実施した。

史跡整備基本設計の作成を委託事業で実施した。

(イ) 村山浅間神社・大日堂

便益施設(案内所・トイレ)の整備を行った。

神社所蔵資料(近現代)の調査を実施した。



写真 9 村山浅間神社の便益施設

大日堂解体・修復工事に向け、大日堂内に安置されていた大日如来坐像（市指定文化財）等の仏像を村山浅間神社宝物殿内へと移動した。

(ウ) 人穴富士講遺跡

史跡内の地形図作成、碑塔群の実測・現況調査、溶岩洞穴のレーザー測量等を委託事業で実施した。

(エ) 大宮・村山口登山道

昨年度に引き続き登山道の現況調査(八合目から頂上)を実施した。

また、各山小屋経営者への聞き取りを実施し、登山道及び山小屋の歴史的変遷、現在の経営の様子等について調査をした。

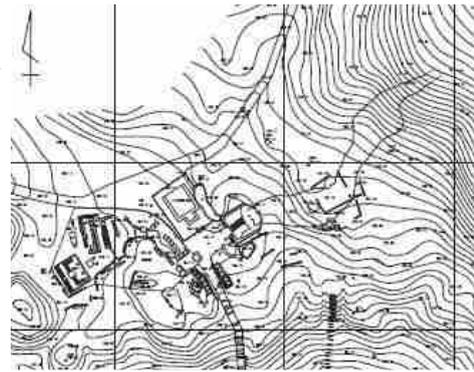


図1 人穴富士講遺跡地形図

(2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業（世界遺産推進室主管事業、表紙写真）

世界遺産富士山の構成資産となった名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」の整備を整備基本計画に基づいて実施した。整備に際しては、文化庁の指導のもと、学識経験者から成る整備委員会で整備内容の協議を重ねて進めた。

世界遺産登録に当たっての課題とされていた滝つぼ内の人工物の撤去工事を経て、展望場、歩経路とともに新橋を整備し、風致景観の向上を図った。



写真10 白糸ノ滝（整備前）



写真11 白糸ノ滝（整備後）

(3) 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業

史跡「大鹿窪遺跡」（平成20年3月28日指定）について、適正な保全・公開・活用を検討するため、史跡大鹿窪遺跡整備基本計画策定委員会を開催した。

また、史跡管理のため、指定地（約6,600㎡）の草刈を地元区に委託して実施した。

○ 史跡大鹿窪遺跡整備基本計画策定委員会の開催

開催日：平成25年11月22日（金）

内容：平成25年度の事業について報告。指定地内の整備方法や整備基本計画策定スケジュールについて検討。

## 4 指定文化財保存管理事業

### (1) 富士宮市文化財保護補助金の交付

「富士宮市文化財保護補助金交付要綱」に基づき、以下の通り市内指定文化財の管理・保存・活用事業に対して補助金の交付を行った。

#### ア 富士山本宮浅間神社本殿指定文化財管理事業

補助事業者：富士山本宮浅間大社 代表役員 宮司 中村徳彦

事業内容：国指定重要文化財「富士山本宮浅間神社本殿」の自動火災報知設備・消火設備（加圧式動力消防ポンプ）・避雷針の保守点検等の文化財管理事業を実施した。

#### イ 富士山本宮浅間大社社殿指定文化財管理事業

補助事業者：富士山本宮浅間大社 代表役員 宮司 中村徳彦

事業内容：県指定有形文化財「富士山本宮浅間大社社殿」の自動火災報知設備・消火設備（加圧式動力消防ポンプ）・避雷針の保守点検等の文化財管理事業を実施した。

#### ウ 村山浅間神社所蔵仏像保存施設設置事業

補助事業者：宗教法人 村山浅間神社 代表役員 山本哲

事業内容：大日堂解体・修復工事の実施に伴い、大日堂内部に展示している市指定有形文化財4件（「大日如来坐像（胎蔵界）」、「大日如来坐像（金剛界）」、「役行者倚像」、「不動尊像」）を展示するため、既存の宝物館を改修し、保存施設とした。



写真12 村山浅間神社宝物館（改修後）

### (2) 指定文化財保護対策事業

国指定特別天然記念物「狩宿の下馬ザクラ」・静岡県指定天然記念物「猪之頭のミツバツツジ」の樹勢保持のため、平成26年3月に施肥・消毒を実施した。

市指定史跡「虚空蔵社古墳」墳丘部にあるエノキが成長し、倒木の危険があったため、平成25年11月に切除と剪定を実施した。



写真13・14 虚空蔵社古墳エノキ切除前(左)・後(右)

### (3) 文化財防火デー

文化財防火デーは、国民全体の重要な宝である文化財を火災や震災などの災害から守るために昭和30年に定められたものであり、毎年1月26日を中心に全国で文化財防火運動が実施されている。

市内では、浅間大社と大石寺で防火訓練を実施した。また、消防本部による消防設備の点検及び東京電力（株）富士支社の協力を得て、建造物の漏電検査を行った。



写真 15 防火訓練（浅間大社）



写真 16 漏電検査（北山本門寺）

## 5 未指定文化財保存管理事業

### (1) 民俗調査事業

表 1 平成 25 年度調査一覧

	名 称	月 日	場 所
1	子安信仰調査	7月～8月	市内各所
2	茅の輪の神事	7月31日	福石神社(元城町)
3	盆行事（川供養）	8月14日～16日	富士川及び芝川流域
4	どんど焼き・小正月行事	1月9日～12日	市内各所 神奈川県大磯町・秦野市
5	火伏念仏（市指定文化財）	1月18日・3月14日	市内内野



写真 17 盆行事の様子（内房尾崎地区）



写真 18 火伏念仏（内野地区）

ア 子安信仰調査

場 所：市内各所

調査者：富士山文化課学芸員 4 名

内 容： 子安信仰の神社・石造物や子安講について調査した。市内では、杉田の子安神社が市域を超えた信仰圏を持ち、ここの掛軸を本尊とする子安講も多い。子安講は、安産や子供の成長を願うもので、女性や子供によって営まれる。掛軸を本尊として飾り、会食を伴うことが多い。かつては集落や組毎に盛んに行われていたが、現在では簡素化した講や解散してしまった講も多い。



写真 19 子安観音(羽鮒月代)

表 2 市内の子安信仰の寺社・石造物等一覧

No.	名 称	所在地	備 考
1	子安神社祠	猪之頭	太鼓石の近く
2	子安大菩薩祠	猪之頭	太鼓石の近く
3	道祖神	上井出	捨て子をした。
4	鬼子母神(天照八幡宮)	北山	かつては北山本門寺に祀られていたという。8月に祭典を行う。
5	子安妙見宮	馬見塚	
6	子安地藏	山宮	かつては子供の遊び場だった。
7	子安地藏	宮原	出産で亡くなった女性を祭る。破損したため再建。
8	金之宮神社	淀師	「金之宮子安神社」と呼ばれた。コノハナサクヤヒメを祭る。
9	性快地蔵	淀師	夜泣き、子育て、子授けの地藏。
10	子育地藏	宝町	子供の安全を願って建立。
11	富士山本宮浅間大社	宮町	コノハナサクヤヒメを祭る。
12	福石神社	元城町	「福石子育市大明神」ともいわれた。
13	子育観音菩薩(宗心寺)	阿幸地	
14	道祖神	安居山	捨て子をした。
15	子安八幡神社	沼久保	晒を奉納すると安産できるといわれる。
16	鬼子母神(自證寺)	黒田	
17	イチョウ(本光寺)	黒田	銀杏とお洗米をもらい粥を炊くと乳の出がよくなるといわれた。
18	子安観音	山本	子安堂に安置される。
19	イチョウ(村山浅間神社)	村山	針で気根の先端を刺すと乳の出が良くなるといわれた。
20	子安地藏	栗倉	かつては縁日が出て賑わった。
21	大岩子安神社	大岩	
22	子安神社(小泉八幡宮)	小泉	小泉八幡宮境内に祀られている。
23	杉田子安神社	杉田	安産・子育ての神として、周辺地域からも信仰される。
24	子安八幡菩薩	上稲子	池ノ谷集落の観音堂に安置されている。
25	逆さ杉の湧き水	西山	湧水で粥を炊いて食べると乳の出が良くなるといわれた。
26	子安地藏(長遠寺)	長貫	かつては境内に子安堂があった。
27	子安観音	羽鮒月代	実在の産婆を祀った。
28	子安地藏(祥禅寺)	内房廻沢	境内の子安堂に祀られている。夏と冬に祭典を行う。
29	大乘妙典写石塔	内房大嵐	羽鮒の子安像はこれを参考に作られたという。
30	子安観音	内房仲	
31	子安観音	内房瓜島	

## イ 茅の輪の神事調査

日 時：平成 25 年 7 月 31 日（水）

場 所：福石神社（富士宮市元城町）

調査者：富士山文化課学芸員 3 名

内 容： 市内福石神社の祭礼は、宵祭の「茅の輪の神事」（わくぐりさん）が知られている。今年度は、茅の輪の製作について主に調査した。茅の輪は 31 日の日中に氏子らによって製作される。チガヤ・竹を材料とし、大きさは円周 12 尺（閏年は 13 尺）である。茅の輪は 2 つ作られ、拝殿前と鳥居の 2 ヶ所に設置される。



写真 20 茅の輪製作風景



写真 21 完成した茅の輪

## ウ どんど焼き・小正月行事調査

日 時：平成 26 年 1 月 11 日（土）

場 所：神奈川県大磯町

調査者：富士山世界遺産課学芸員 4 名

内 容： 神奈川県大磯町は道祖神信仰の盛んな地域の一つであり、小正月の火祭り「大磯の左義長」は国の重要無形民俗文化財に指定されている。左義長では、道祖神に仮小屋を掛けて子供たちが籠る。小屋の傍にはオンベ竹を立て、縫い初めなどを吊るして飾る。また、「七所参り」といって 7 ヶ所の道祖神を詣でる。富士宮市内でも、かつてどんど焼きの際の小屋掛けや七所参りが行われており、道祖神信仰のあり方・来歴を考えるうえで興味深い。



写真 22 道祖神の仮小屋（神奈川県大磯）



写真 23 道祖神の仮小屋（神奈川県大磯）